

奇妙な物質の ささやきⅡ

BIGAKKO ANNUAL REPORT 2011

- 4.15(金) pm7:30開演* 中西晶大「不邪淫と餓鬼」 舞踏
 4.16(土) pm7:30開演* 芽衣桃子「眠島—ネムルシマ」 舞踏
 田中誠司「a boy」 舞踏
 武田幹也「巨人」 舞踏
 大倉摩矢子「Mr.」 舞踏
 4.17(日) pm6:00開演* ラビィ「かえる」 舞踏

 4.22(金) pm7:30開演 芥正彦「アルトール モモ、此处に眠る」— 喉と肛門Ⅱ
 芥正彦 息/言葉/肉体 + 結城一糸 人形/息 + 田村泰二郎・平井賢治 俳優
 阿部薫 息/音楽 アントナン・アルトー テクスト
 4.23(土) pm7:30開演 上杉満代「ポートレートM. 其の巻—なまけ者—」 舞踏
 小林嵯峨「瞳の底の光の芽」 舞踏
 大森政秀 アンモナイトの爪 番外篇「違った風な見方もあるぞ」 舞踏
 4.24(日) pm6:00開演 石井満隆「無題」 舞踏

照明・音響：曾我傑
 舞台監督：岡田隆明 企画：竹重伸一／大森政秀

会場：テルプシコール Tel：03-3383-3719
 料金：前売3000円／当日3500円 *は前売2500円／当日3000円
 ◎全日通し券12000円(限定10枚) ◎三日通し券7000円
 予約受付：テルプシコール企画室 terpsi@mac.com 03-3338-2728

神山貞次郎×小野塚誠
 写真展(舞踏を撮り
 続けた二人の写真家

四月一四日(木)ー四月二〇日(水) 12時ー19時
 会場：HIGURE 17-15 cas
 企画：竹重伸一／大森政秀

会期中のパフォーマンス

四月一四日(木) 19時30分 入江平(舞踏)
 四月一七日(日) 14時00分 百合子(舞踏)+伊藤ちか子(アコーディオン)

会場：HIGURE 17-15 cas 料金：両日とも1000円
 予約：美学校アニュアル 17-15 cas
 メール：bigakko@tokyo.email.ne.jp
 ファックス：03-3262-6708
 フォン：03-3262-6708

主催：BIGAKKO ANNUAL REPORT 実行委員会 お問合せ：BIGAKKO ANNUAL REPORT 実行委員会事務局
 MAIL bigakko@tokyo.email.ne.jp TEL 03-3262-2529 WEB http://bigakkobar.jp/
 協力：テルプシコール・HIGURE 17-15 cas 助成：公益財団法人花王芸術・科学財団

中西晶大 NAKANISHI, Masahiro
 1980年、和歌山生まれ。21の時に旅したインドでカルチャーショックをうける。23歳、表現方法を求め上京・役者活動を開始。27歳、舞踏の世界に足を踏み入れる。同7月、シアターXにてソロデビュー。29歳、石井満隆に師事。2010年5月、初の単独ダンスソロ「屠」発表。同12月、東京パピヨン「 নিজנסキーな海辺で#1」に参加。他、寺院、公園、ギャラリーなど場所を選ばず表現している



中西晶大



武田幹也



ホモフィクタス 芥正彦



小林嵯峨 ©小野塚誠

芽衣桃子 MEI, Momoko
 2001年9月より、舞踏、北辰の会・大竹有照主催にて舞踏をはじめ。テルプシコール舞踏新人シリーズ第32弾、34弾、北辰舞踏公演に3回参加する。四ツ谷の生涯学習会館にて独自の活動をはじめ、独舞を行う。

田中誠司 TANAKA, Seiji
 舞踏家。1977年奈良生まれ。2006年舞踏家、大野慶人に師事。2007年映像作品「憧れ sehnsucht」大野一雄と大野慶人の日常を撮る写真コラボ。2008年舞踏ソロ「シンダテンシ」シュトゥットガルト、ゾンマーライン教会。2009年舞踏デュオ「死の夢」東京ワサツアター。2010年舞踏ソロ「Remember」中野テルプシコール。静かに行く者は、遠くまで行く。



芽衣桃子



大倉摩矢子 © 神山貞次郎



結城一条



大森政秀 ©高橋成忠

武田幹也 TAKEDA, Kan-ya
 秋田生まれ。2009年4月~2010年3月舞踏十二回公演「独行道」を中野plan Bにて敢行。現在、舞踏スターになるため訓練中。

大倉摩矢子 OHKURA, Mayako
 1977年岡山市生まれ。1999年より舞踏家大森政秀(天狼星堂主宰)に師事し、天狼星堂舞踏公演に出演している。2001年より、ソロでも踊り始める。主なソロ「微熱な日々」「明るさの淵」他、野外・美術館・美容室等でも踊る。2002年ラポ 20#13 に出演し、ラポ・アワード受賞。2004年第35回舞踊批評家協会賞新人賞受賞。

ラビィ La Vie
 映像制作、キャバレーショーダンサーなどを経て'02年より舞踏へ。'03年舞踏家・上杉満代に師事。上杉満代+アヒルスタジオ作品、国内外全にて出演。'07年よりソロ公演開始「ラビィ solo—わたしの中のひとりを教出せよ—」plan-B/'10年「休息日—HOLY DAY—」テルプシコール/劇祭・上海素麺工場「羅紗面天賦麗」出演。

ホモフィクタス 芥正彦 ACT Masahiko
 プロフィール?もう忘れた—。原爆が爆発し、ほどなく私という恥辱が生れ、そいつは分裂し、増殖し、多様体の流れとなり、強度を獲得し、上部を突き抜け、下部を突き抜け、破裂してそこらの劇場中降りそそぎ、ふたたび私という基底材となって集合し、今でも首にぶら下って回転しているこの石日!
 こいつだけが私のかわりに生きのびつづけていくのだろうか。

結城一条 YUHKI, Isshi
 長い歴史を持つ結城座、十代目結城孫三郎の三男として1948年に生まれる。5歳、初舞台。1972年、三代目結城一条を襲名。古典的な糸あやつり人形芝居の継承者の中核を担いながら、前衛的な演出家と新たな芝居作りを展開する。2003年、結城座から独立。2005年、田中純と共に「江戸糸あやつり人形座」を旗揚げ。古典糸あやつり人形の新たな起り起こしと、新作においては、実験的な演劇を次々と産み出している。現在、「江戸糸あやつり人形座」代表。

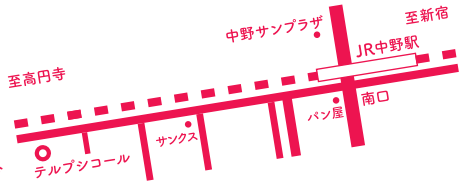
上杉満代 UESUGI, Mitsuyo
 福岡に生まれバレエを踊り絵を描く多感な青春を過ごし上京。1972年舞踏家大野一雄氏の踊りに衝撃を受け門下。75年舞踏ソロ「紅蓮夜曲」レヴュー後、ソロ活動開始。87年~90年渡仏、コンテンポラリーダンサーとして生活。帰国後演劇他分野の交流を経て個のメラコンニアを追求の為のソロ舞踏協働公演に執着。2009年~2010年(ペイビーメラコンニア—夢六夜—)に於いて2010年舞踊批評家協会賞受賞。近年は故郷福岡のテント芝居(上海素麺工場—主宰支那海岸—)等に参加。新たな活動始める。

小林嵯峨 KOBAYASHI, Saga
 1969年~75年、土方翼に師事し、「四季のための二十七晩」「夏の嵐」など、この時期のすべての土方作品に出演。75年、独立して舞星倶楽部結成。80年、土方翼「日本の乳房」で欧州巡演。97年より「アウラ」シリーズを発表。フィンランド、アジア等海外公演多数。現在、NOSURIを主宰し国内外で活動。ワークショップも開催中。著書「うめの砂軍」(アトリエサード)。http://kobayashi-saga.jp/

大森政秀 OHMORI, Masahide
 1949年北海道三笠市生まれ。少年期アンモナイト探集の日々。'69年「舞踏弾丸」発射。'72年天使館(笠井敬主宰)入館。'78年「天狼星堂」設立。'82年「アンモナイトの爪」シリーズ開始。'83年土方翼構成・演出「景色へ—路の髪型」。同年「一千三夜物語」にて舞踏の異兄弟達と交流。代表作に「総集版・アンモナイトの爪」のままで。国内外で公演多数。第40回(2008年度)舞踊批評家協会賞受賞。天狼星堂主宰。

石井満隆 ISHII, Mitsutaka
 小豆島に生まれる。石井漢に師事。61年土方翼「暗黒舞踏派」に参加。「舞踏ジュネ(石井満隆 DANCE EXPE RIENCEの会、ガムラ高会演劇)」「おじゃね抄」等に出演。69年独立。71年渡欧。以後、英、独、仏を中心に活躍。79年渡米。翌年に帰国して後も国内外で活動。青森、青南病院にて舞踏療法を实践。06年ガラ公演「百花繚乱」百歳の大野一雄に接するオマージュ。「大野一雄フェスティバル 2009」等に参加。

奇妙な物質の ささやき II



テルプシコール
 中野区中野3-49-15-1F
 JR中野駅より徒歩7分

神山貞次郎 × 小野塚誠
 写真展・舞踏を撮り 続けた二人の写真家

入江平
 九六年土方翼記念アスベスト館出身。まずは肉体内部のスローガンを!! といふものの、今年度四月フランスヌーベルダグランスの旗手カリヌサポルタの企画に参加。

百合一子
 二〇〇三年~二〇〇七年 上杉満代氏に師事 二〇〇八年より ソロ作品「アルメトール」シリーズ展開中

伊藤ちか子
 アコーディオン奏者
 九五年頃より演奏活動を始める。ソロ演奏中心に、ジャンルを超えて活動。旧古河庭園「春のバラフェスティバル」、関西日仏学館「パリ祭二〇〇八」、イタリヤ文化会館「アンソングラフイー...〇七年」「伊藤ちか子アコーディオン演奏集」/伊藤ちか子、〇九年「K A O L U A」/K A O ベラ・ノッテ/K A O L U A、〇九年「K A O L U A」/K A O オフィシャルサイト http://chikakoto.com/

神山貞次郎
 一九四八年仙台生まれ。一九七三年天使館公演「七つの封印」にて笠井敬氏に出会う(赤坂国際芸術家センター)。これを機に舞踏家の舞台風景を撮り始める。一九九八年頃から、舞台照明、舞踏公演、ラビィデザイン等も始める。カメラ機材をデジタルに変える。

小野塚誠
 フリーカメラマン。栃木県生まれ。東京工芸大学(旧東京写真実大)卒。広告写真、エディトリアル写真、e.l.c. 学生時代、舞踏家土方翼と出会う舞踏の世界を長年撮り続けている。土方翼の多くの写真は、慶応義塾大学アートセンター「小野塚誠コレクション」として土方翼研究に活用されている。

http://bigakkkobar.jp/



HIGURE 17-15 cas
 荒川区西日暮里3-7-15
 JR山手線・京成線
 「日暮里駅北改札西口」より徒歩6分
 JR山手線・東京メトロ千代田線
 「西日暮里駅西口」より8分